

## 環境配慮方針に基づく公共施設の電力調達について (令和3年度第3回環境保全審議会報告案件に関する補足説明)

本年2月に開催した令和3年度第3回調布市環境保全審議会における報告事項「公共施設における再生可能エネルギー電力の調達について」のうち、当日いただいた御質問に対する補足の説明をいたします。

### 【質問概要】

市が令和3年度に実施した環境配慮方針に基づく高圧受電施設における電力調達の実施では、再生可能エネルギーの割合は高まっていないのではないかと。入札で決定した電力事業者のCO<sub>2</sub>排出係数を教えてほしい。

### 【回答】

調布市では、令和3年4月に策定した「調布市電力の調達に係る環境配慮方針」に基づき、高圧受電をしている公共施設の制限付き一般競争入札を、市として初めて実施しました。

「調布市電力の調達に係る環境配慮方針」における基本項目及び加点項目の評価点の合計が70点以上であることが入札参加条件となります。配点は以下のとおり。

基本項目	区分	調布市	参考:R3 環境省	参考:R3 国立市
		配点	配点	配点
①前年度の1kWh当たりの二酸化炭素排出係数 (調整後排出係数) (単位: kg-CO <sub>2</sub> /kWh)	0.375未満	70	70	70
	0.375以上 0.400未満	65	65	65
	0.400以上 0.425未満	60	60	60
	0.425以上 0.450未満	55	55	55
	0.450以上 0.475未満	50	50	50
	0.475以上 0.500未満	0	45	45
	0.500以上 0.525未満		40	40
	0.600以上 0.690未満		20	20
	0.690以上		0	0
②前年度の未利用エネルギーの活用状況	0.675%以上	10	10	10
	0%超 0.675%未満	5	5	5
	活用していない	0	0	0
③前年度の再生可能エネルギーの導入状況	7.50%以上	20	20	20
	5.00%以上 7.50%未満	15	15	15
	2.50%以上 5.00%未満	10	10	10
	0%超 2.50%未満	5	5	5
	導入していない	0	0	0
加点項目	区分	配点	配点	配点
④需要家への省エネルギー・節電に関する情報提供の取組	取り組んでいる	5	5	5
	取り組んでいない	0	0	0

※ ただし国立市においては、国立市役所本庁舎及び国立市立中学校3校の電力調達契約においては、実質再生可能エネルギー比率100%の電力供給が可能で「供給する電力量に占める実質再生可能エネルギー比率が確認できる資料」を提出できる者という条件を付しています。

令和3年度に落札した小売電気事業者「東京電力エナジーパートナー株式会社」については、結果としてこれまでと変わりませんでした。入札を経ることによりコストは大きく削減されました。

小売電気事業者を評価する基準として、1単位当たりの電気（1kWh）を発電するのに、どのくらいの温室効果ガスを排出しているかを表す「排出係数」があります。排出係数には、以下の2種があります。

①基礎排出係数	排出した温室効果ガスと小売りした電 気量で計算します。 小売電気事業者ごとに1つ	地球温暖化対策の推進に 関する法律に係る計算で 使用します。 地球温暖化対策実行計画
②調整後排出係数	基礎排出係数に、固定価格買取制度 （FIT）や国が認めるカーボンオフ セット等を考慮して計算します。 小売電気事業者ごとに1つ以上	省エネ法等各種温室効果 ガスの算定に使用しま す。

<参考 入札時点での排出係数>

単位：t-CO<sub>2</sub>/kWh

	①基礎排出係数	②調整後排出係数 ※一般契約メニューのみ記載
東京電力エナジーパートナー(株)	0.000457	0.000442
全国平均	0.000445	0.000445
[参考](株)F-Power	0.000448	0.000514
[参考](株)エネット	0.000391	0.000409
[参考]ミツウロコグリーンエネルギー(株)	0.000334	0.000491
[参考](株)Loop	0.000498	0.000545
[参考]ENEOS(株)	0.000462	0.000472
[参考]東京ガス(株)	0.000396	0.000364
[参考]丸紅新電力(株)	0.000308	0.000484
[参考]日立造船(株)	0.000137	0.000195
[参考]府中・調布まちなかエネルギー(株)	0.000495	0.000513

<出典：-R1年度実績- R3.1.7環境省・経済産業省公表、R3.7.19一部追加・更新；令和2年度の温室効果ガス排出量を算定する際に用いる係数>

東京電力エナジーパートナー(株)の排出係数については、東日本大震災（2011年3月）以降0.000531（2013年度）まで上昇しましたが、以降は低減傾向にあります。

今年度以降は、エネルギー環境を取り巻く厳しい国際情勢・電力情勢を踏まえつつ、より環境に配慮した電力調達の方策について検討して参ります。